コース19　羽黒山（はぐろさん）

～出羽三山生まれ変わりの旅～

リーダー　　ＣＬ 1667たしろ　ＳＬ 1787本もう
実 施 日　　令和７年10月30日（木）
天　　候　　晴れ
グレード　　Ａ上
参 加 者　　15人（男性２人　女性13人）

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備　　考
新津駅発		６：13	羽越本線各駅停車
鶴岡駅	９：02	９：43	路線バス利用
随身門前	10：25	10：40	石段の登り、五重塔で集合写真撮る
羽黒山頂上	12：05	13：00	三神合祭殿参拝、昼食、路線バス利用
いでは文化記念館	13：20	14：42	路線バス利用
鶴岡駅	15：20	16：23	特急いなほ乗車
新発田駅	17：47	18：16	羽越本線各駅停車
新津駅着	18：48	00：00	

山行等概要（幹事のコメント）

- 「登山」ではないけれど「歴史のある古道を歩く」ということで、今回の山旅を企画しました。貸し切りバス利用だと参加費が高額になるのもありましたが、電車で日本海を眺めながらのんびり行くのも良いかと思い、電車＋路線バスとしました。その土地の電車やバスに乗ると自然と地元の雰囲気が感じられ、味わいがあります。「知らない町に来た」高揚感があります。
- 鶴岡駅前で羽黒山頂行きのバスを待っていると、北海道から来られたご夫婦と話しが弾みました。お二人は私たちと一緒に羽黒山の石段道を登られ、集合写真を撮って下さいました。こんなことも旅のちょっとした思い出になります。
  さて、随身門をくぐり、足元が滑らないように注意しながら石段を下ると、赤い欄干の太鼓橋が見えてきます。そこを渡って右手の秡川と須賀の滝に寄ります。そこから少し行った先には国宝羽黒山五重塔。
- しばし五重塔を眺めた後、杉木立の中の石段を黙々と登ります。登山道とは違って一段一段それほど段差は高くないけれど、時間の経過とともに息が上がってきます。音を上げそうになった頃、頂上に到着。出羽三山合祭殿が堂々と構えてい

ました。
平日とあって参拝者は少ないですが、インバウンドの方もチラホラいました。「これぞＪＡＰＡＮ！」と感じたと思います。

- 頂上発 13 時のバスに乗らなくてはならないため、昼食をゆっくりできずに済ませましたが、すてきな御朱印をもらった方もいました。
帰路はバスを途中下車して「いでは文化記念館」に立ち寄りました。ここは、出羽三山・羽黒修験道に関するビジターセンター的な施設です。今でこそ登山はスポーツとみなされているように思いますが、古来日本人にとって山に登るのは「詣でる」ためでした。お山は神仏がましますところ、そして、遠くにあり容易に近づけないお山の頂きへの憧れ。
- 今日は秋晴れで月山それに鳥海山が見えました。既に初冠雪を迎えています。その美しい姿にみとれてしまいました。
さて、本日の旅もそろそろ終わり近くになりましたが、鶴岡駅前でお土産を買い、特急いなほに乗車してあつみ温泉を過ぎる当たりで夕日が見れました。これも今日期待していた楽しみの一つです。
- 海と山、両方の美しさを堪能した一日でした。
企画幹事として感じたのは、参加した皆さんが「ああ、今日は楽しかった！いい一日だった。」と喜んでくれれば、それが何よりだということ。とかく山登りは（アドレナリンが出ているせいか）達成感や苦しいことに挑戦する充実感が良しとされがちですが、それは近代アルピニズムによる洗脳というもの。
- おそらく昔の日本人は自然への畏怖や憧れを強く持ちながら、もっと素直に山を詣でていたのだろうなあ、そうやって山道を黙々と歩くと雑念が消え、あたかも生まれ変わったような気がするのだろうか、などと思いながら帰途につきました。

新津ハイキングクラブ

新津ハイキングクラブ